

適性検査Ⅰ

注 意

- 1 問題は二ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は四十五分で、終わりは午前九時二十五分です。
- 3 声を出して読むはいけません。
- 4 問題用紙と解答用紙を提出しなさい。
- 5 受験番号と氏名を解答用紙の決められたらんに記入しなさい。

目黒日本大学中学校

受 験 番 号	受 験 者 氏 名

次の文章A・文章Bを読んで、あとの問題に答えなさい。

文章A

いまや、知識と情報を得るだけでいいならそれはインターネットの世界に膨大にあり、簡単にアクセスすることが出来ます。これらの材料を前にして、そこから何を使い、どう考え、そして何を生み出すか。その「技」をこそ、身につける必要がある。

ほうだい
さいとうたかし
(齋藤孝「考え方の教室」による)

文章B

われわれはとても弱い存在である。社会の動き、もっと言えばマスコミやメディアの言説に動かされやすい。特に社会の情勢に関しては、よほど自分で調べない限り、メディアから流される情報に＊いきよ依拠するよりほかに判断の手段を持たないことが多い。

ながたかずひろ
(永田和宏「知の体力」による)

〈言葉の説明〉

依拠・・・よりどころとすること。

問題

右の文章A・文章Bは、ともに「考えること」について述べられた文章です。

この二つの文章は、同じようなことを述べていますが、その中には、ちがいもあります。あなたはこの二つの文章の共通する点と、異なる点ことを、どのように読み取りましたか。解答らん①には、考えることについて共通する

点を、二十字以上、四十字以内で分かりやすく書きましょう。解答らん②には、それぞれの筆者が伝えたいことについて異なる点を、「Aは……。」、段落だんらくをかえて「Bは……。」という構成で、全体で百四十字以上、百六十字以内で分かりやすく書きましょう。

また、この二つの文章を読んで、あなたはどのようなことを考えましたか。解答らん③に、あなたの考えを、いくつかの段落に分けて、四百字以上、五百字以内で分かりやすく書きましょう。

（書き方のきまり）

○ 題名、名前は書かずに一行めから書き始めましょう。

○ 書き出しや、段落だんらくをかえるときは、一まず空けて書きましょう。ただし、解答らん①については、一まずめから書き始めましょう。

○ 行をかえるのは段落をかえるときだけとします。会話などを入れる場合は、行をかえてはいけません。

○ 読点とってん↓、や 句点↓。かぎ↓ 「などはそれぞれ一まずに書きましょう。ただし、句点とかぎ↓。」は、同じまずに書きましょう。

○ 読点や句点が行の一番上にきてしまうときは、前の行の一番最後の字といっしょに同じまずに書きましょう。

○ 書き出しや、段落をかえて空いたまずも字数として数えます。

○ 最後の段落の残りのまずは、字数として数えません。

○ 文章を直すときは、消しゴムでいいねいに消してから書き直しましょう。

適性検査Ⅰ

解答らん①

[illegible]

解答らん②

[illegible]

解答らん③

[illegible]











探点者印	
------	--

總得点	/100
-----	------

受驗者氏名

受験番号	
------	--

※右記の太枠の中は必ず記入すること。